

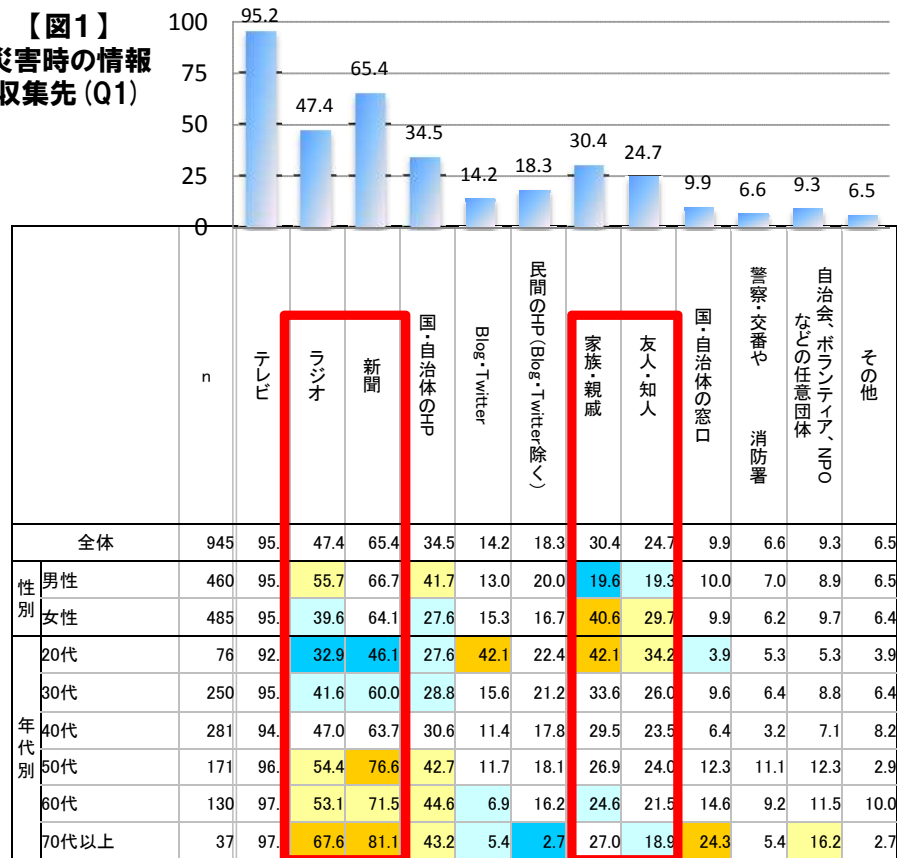
1. 同一、もしくは類似した選択肢を持つ設問の比較

Q1. 日常、災害に関するさまざまな情報は、どのようなところから入手されていますか。(複数選択可)

情報収集行動

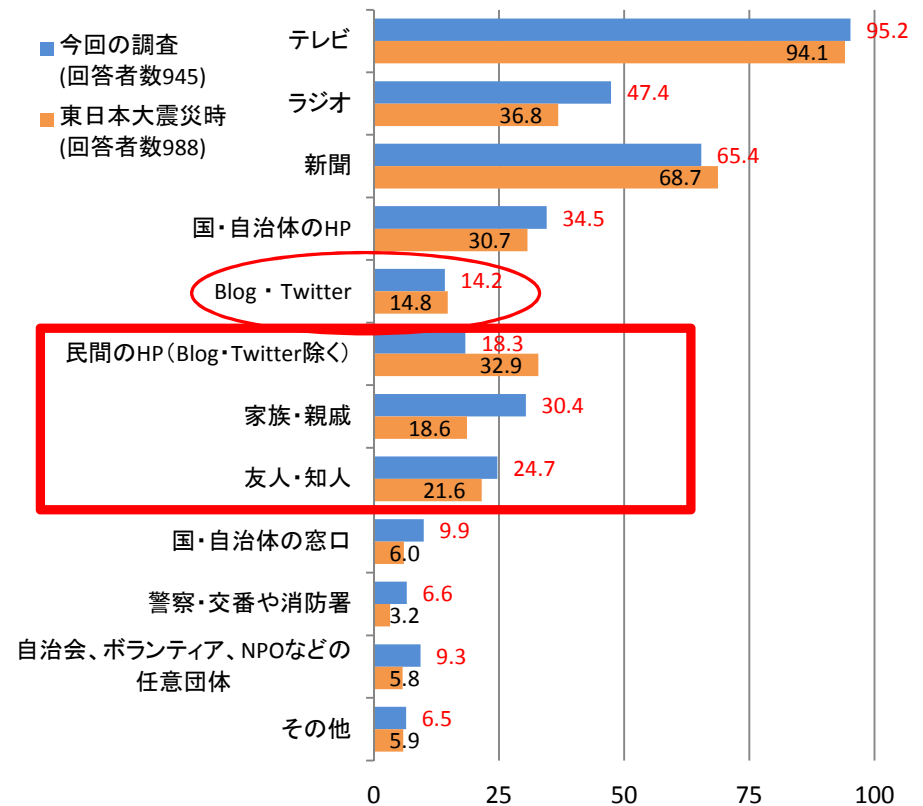
- ・【図1】 テレビは全年代を通じて90%以上を超えているが、ラジオ、新聞は年代が上がるほど数値が高くなる傾向があり、逆に家族・親戚、友人・知人からの情報収集は若年層ほど数値が高い。
- ・【図2】 東日本大震災時(H23年3月発災)と約18ヶ月が経過した今回の調査(H24年9月)の比較では、民間のHP(Blog・Twitter除く)が14.6ポイントと40%以上減少したのと対照的にラジオや家族・親戚、友人・知人と言った従来型の媒体が増加している。

【図1】
災害時の情報
収集先 (Q1)



全体より10ポイント以上高い
全体より5ポイント以上高い
全体より5ポイント以上低い
全体より10ポイント以上低い

【図2】
東日本大震災時との比較
(Q1)

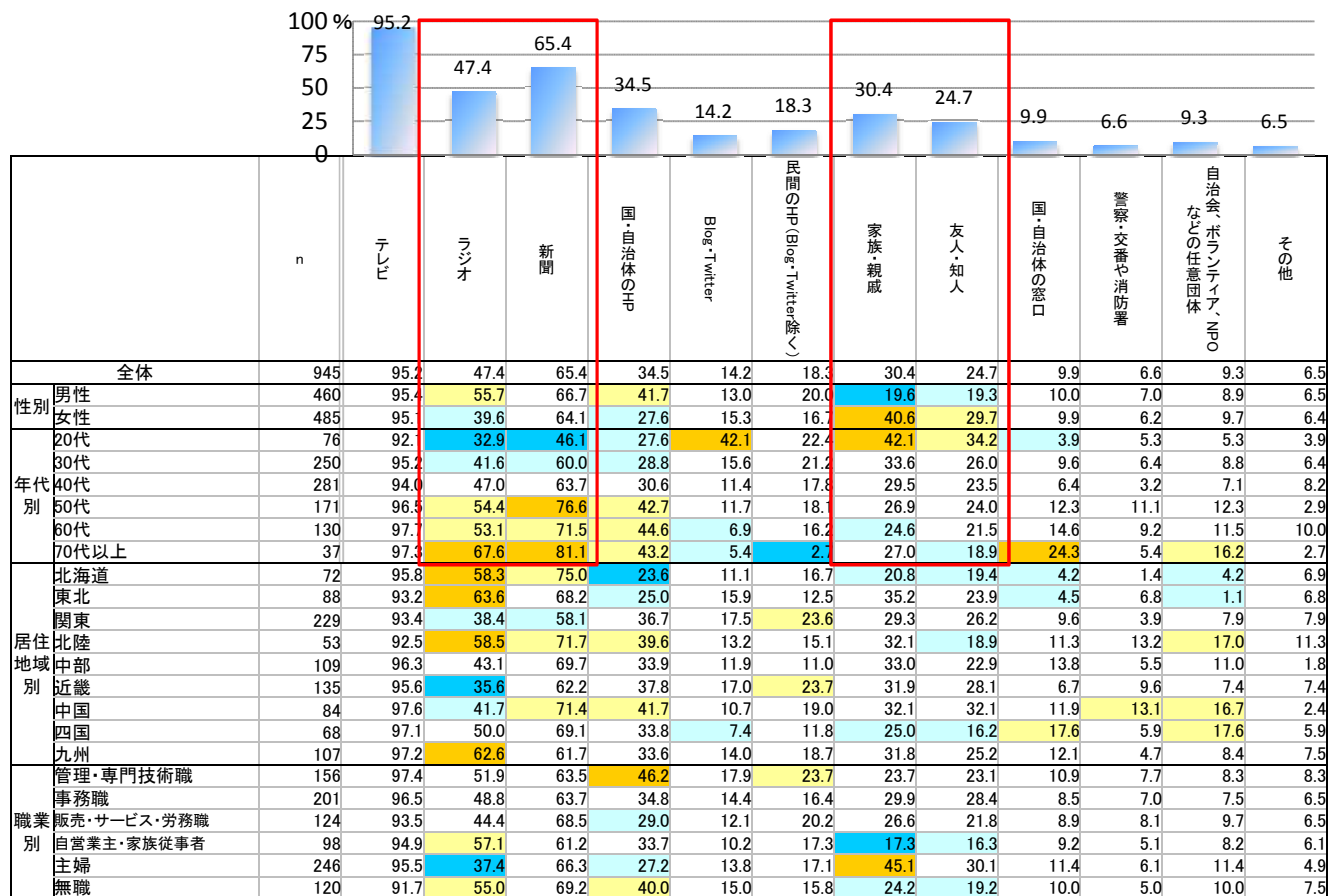


1. 災害時の情報収集先

Q1.日常、災害に関するさまざまな情報は、どのようなところから入手されていますか。(複数選択可)

- ◆ 日常における災害情報の収集先は、圧倒的にテレビで、性別・年代別・居住地域別・職業別に変わりなく、最も利用されている。
- ◆ 全体では、2位「新聞」、3位「ラジオ」の順。男性は、全体と同じ順位だが、女性では、3位「家族・親戚」、4位「ラジオ」の順。
- ◆ 「ラジオ」、「民間のHP」は男性が高く、女性が低い。反対に、「家族・親戚」、「友人・知人」では女性が高く、男性が低い。
- ◆ 性別における相反傾向同様に、20代・30代と60代以上は、「ラジオ」、「新聞」、「国・自治体のHP」は、60代以上が高く、「Blog・Twitter」、「民間のHP」、「家族・親戚」、「友人・知人」は、20代・30代が高い。

日常、利用する災害情報の収集先 (Q1) [複数選択]



全体より10%以上高い
 全体より5%以上高い
 全体より5%以上低い
 全体より10%以上低い